

「議員の本懐は、政策を議会で提案し、市民生活の向上を図ること」との信条で、ひとりの市民の声に耳を傾け、それを政策に磨き上げ、市民生活で実現してまいりました。今後も「いつ提案」して「いつ実現」したかを、市民の皆様へ明らかにしてまいります。

提案した主な議会	内 容	実現した時期等
<b>①稲毛区の未来のために大胆な整備を！</b>		
27年第2回 28年第4回 29年第4回	稻毛駅東口再開発の予算化・市の支援 	30年度、31年度 (調査費予算化と市の支援を初めて約束)
29年第4回	稲毛中学校周辺整備事業 (検見川・稲毛地区土地区画整理事業)	30年度、31年度 (2億8千万円→約5億円)
29年第2回	オリパラや首都圏市場を見据えた都市農業の推進、条例改正、収入保険制度の周知	31年度「稼げる農業」への総合政策
<b>②災害・犯罪・虐待・猛暑から「いのち」を守る！</b>		
29年第1回 30年第1回	稻毛駅周辺の防犯カメラの設置 	31年3月から運用 (東口に4台、西口に2台) (千葉市内で初めて千葉駅・稻毛駅周辺に設置)
28年第1回 31年第1回	児童虐待防止のための改革	※詳細は表面で
30年第3回	学校へのエアコン導入手法・財源提案、体育館への大型扇風機導入	31年夏から
30年第3回	国際基準WBGT測定器による猛暑対策 	30年度中に全校へ配備
30年第3回	猛暑に応じた夏休みの前倒し実施や夏季登校日中止の対応	31年夏から
27年第3回 28年第3回	草野水路(草野水のみち)の安全対策 (特に小仲台～稲毛小～国道14号) 	29年から市のホームページで水位の「見える化」、かさ上げ・掘削工事
28年第2回 29年第2回 第4回	地震時火災防止の感震ブレーカーの密集住宅市街地への無償配布 	30年8月に配布 (政令市で全国初)
29年第2回	延焼火災を防ぐ連動型火災報知器のモデル事業実施	29年11月（全国で初） (東日本大震災前の想定で策定されていたため)
30年第3回	千葉市震災廃棄物基本計画の見直し	30年度に廃棄物基本計画として見直し、31年度にマニュアルを策定
28年第3回	千葉刑務所を災害時の千葉市民の避難場所として提供	30年1月に災害時相互協力協定締結
30年第4回	自転車事故への予防・補償対策の促進	30年12月にau自転車保険と協定締結

### 【不都合な事実も議会で明らかにしてまいりました。】

- 千葉市でも大地震による災害廃棄物の発生を具体的に想定しているのでは？(30年第3回)
  - 稲毛区内は44万トンの発生、仮置き場の7か所想定を見直しへ
- 保育所建設反対運動は千葉市内でも起きていたのでは？(28年第2回)
  - 2か所あった
- 高齢者や学生に自転車事故が多いのでは？(30年第4回)
  - 自転車事故の40%は高齢者だが、死傷者数では若年層が高齢者の約3.5倍も
- 国の制度改革によって千葉市内で主任ケアマネージャーが必ず不足するのでは？(30年第1回)
  - 2020年度の制度改革施行により不足することが見込まれるが、正確な数はわからない
- 短期間に千葉市で談合不祥事案が2件発生したが、再発防止策を事後検証していかなかったのでは？(30年第2回)
  - 今後は、「不祥事防止の取り組みを一過性のものとせず、継続的に実効性のある取り組みが実施されるよう努めてまいります。」

### 桜井ひでお プロフィール

### 公明党 稲毛支部長、千葉県青年局次長

1969年3月	愛知県名古屋市生まれ
1991年	創価大学法学院卒業
1995年	創価大学大学院文学研究科 社会学専攻博士前期課程修了
1996年	法務教官として奉職 法務省矯正局少年矯正課、人事院試験専門委員、東北少年院、千葉少年鑑別所等に勤務(2014年8月退職)
2015年4月	千葉市議会議員選挙(稲毛区)に初めて当選
現在	市議1期、環境経済委員会副委員長 千葉大学大学院 人文社会科学研究科公共研究専攻 博士後期課程在学中 保護司、公認ボッチャ審判員。

●法務教官として、少年院・鑑別所で勤務 →臨床現場で、人づくりや社会の矛盾と向き合いました。  
 ●法務省矯正局や人事院試験専門委員として勤務 →霞が関で、行政の核心を学びました。  
 ●現役の千葉大学大学院・博士後期課程在学中 →地元大学で、最新の政策科学を学んでいます。  
 ●東日本大震災を仙台市在住中に経験 →体育馆で、避難生活・防災の現場を体験しました。

提案した主な議会	内 容	実現した時期等
<b>③新たな発想で介護と保育の充実を！</b>		
27年第2回 28年第1回 28年第2回 30年第2回	市内初となる介護・保育・障がい支援の複合福祉施設をモノレールの駅のそばに建設 	轟町5丁目機動隊跡地に30年4月に特養老人ホーム、30年5月に認定こども園が開設済み、31年4月に障がい者リハビリ施設開所予定
28年第2回	国有地や駅での保育所建設 (保育所建設反対運動への対策)	30年4月に千葉駅ビル、30年5月に轟町国有地に開所、2020年4月に稲毛東4丁目国有地に開所予定
28年第1回	独居高齢者に対する緊急通報システムの推進 	設置3000人突破 (30年12月現在)
28年第4回	高齢化社会を支えるシニアリーダーへの支援	30年度から各区のシニアリーダー教室運営経費へ助成
<b>④インクルーシブな地域社会の実現へ！</b>		
28年第2回 31年第1回	コンビニにおける成人向け雑誌の陳列対策	29年度に39万円の予算から全国展開へ ※詳細は表面で
29年第4回	千葉公園体育馆をインクルーシブな施設に 	2022年度にインクルーシブな施設として供用開始予定
28年第4回 29年第1回 29年第4回	パラスポーツ・ボッチャの普及 	29年度貸出用の道具購入、30年度市役所入口に簡易コート設置、稲毛区主催ボッチャ体験交流会、2020年度ボッチャ市民大会
29年第3回 30年第4回	国と連動し、入学準備金の入学前支給・増額 	30年度に7月支給から3月支給へ、金額も31年2月補正予算で増額
27年第2回 29年第1回	選挙投票所での高校生バイトの推進	29名から60名へ大幅増員
29年第4回	依存症対策	30年度から民間自助団体への助成、啓発活動
30年第2回 31年第1回	犯罪被害者支援	29年8月から公営住宅への優先入居、庁内横断会議の設置
27年第2回 28年第4回 29年第2回 30年第3回	更生支援	30年に矯正施設所在自治体会議に参加表明、31年4月に全区役所内にサポートセンター設置
27年第2回 28年第4回 29年第2回 30年第3回	発達障がい者支援、LGBT支援	保育・医療従事者への研修、学校でのいじめ対策の実施

### 【今後取り組む課題】

これから最も重要なのは、全世代に向けた交通対策と考えています。例えば、買い物・通院弱者の改善はもとより、通勤・通学においても、モノレールの延伸計画の是非は重要な政治課題です。穴川駅から稲毛駅、そして稲毛海岸駅へつながる延伸計画(いわゆる「稲毛ルートJ」)を実行するか否かを31年度に決める必要があります。(県庁から市立青葉病院へのルートも検討課題です。) ほかにも、防災教育を軸にしたまちづくり、大人の発達障がいへの支援など、皆様からの御意見をもとに、取り組んでまいります。



この二つの駅の大きさを比べると分かりますように、右側の天台駅に比べて、横幅の大きい穴川駅は、もともと増線することも視野に入れて建設されています。だからと言って、容易に延伸・増線すべきではなく、建設費だけでなく、既に今後10年間で35億円以上の市からの支援が必要とされる維持費や利用率との採算性などから、慎重に検討する必要があります。

市政に関してのご要望や地域の課題など、ご意見をお寄せください

**公明党 千葉市議会議員団 桜井ひでお**

FAX：043-245-5584

SNSは 桜井ひでお

<http://www.komei.or.jp/km/chibacity-sakurai-hideo/>

